



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 精工技研
 コード番号 6834 URL <https://www.seikoh-giken.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 昌利

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理部長 (氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	2,757	32.8	32		13	97.4	1	99.7
2020年3月期第1四半期	4,101	16.0	524	88.9	517	77.8	345	126.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 98百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 396百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.13	0.13
2020年3月期第1四半期	37.33	37.18

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	26,904	23,056	85.4	2,520.25
2020年3月期	27,744	23,528	84.5	2,571.49

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 22,983百万円 2020年3月期 23,451百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		40.00	40.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		0.00		40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,900	13.1	590	37.5	630	32.6	330	47.0	36.01
通期	15,420	2.0	1,500	7.1	1,580	6.4	1,000	13.3	109.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	9,333,654 株	2020年3月期	9,333,654 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	214,045 株	2020年3月期	213,982 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	9,119,642 株	2020年3月期1Q	9,243,881 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大により大幅に減速することとなりました。欧米各国や中国では外出規制や営業制限等の措置が実施され、経済活動が停滞したことによりGDP成長率が極端なマイナスとなりました。我が国においても、緊急事態宣言に伴う外出自粛や休業要請を受け、個人消費が大きく落ち込みました。国内外の需要減速から、製造業、非製造業共に企業収益が大幅に悪化することとなりました。

当社グループが関わる情報通信・エレクトロニクス関連市場においては、5Gの本格稼働に向けて、世界各国で光通信インフラの増強が底堅く進められました。スマートフォンは、新型コロナウイルスの影響により世界的に消費が減退し、出荷額が大幅に減少したものの、ノートパソコンやタブレット端末についてはリモートワーク需要が下支えし、落ち込み幅が限定的となりました。自動車関連市場では、新型コロナウイルスの感染拡大による需要減退や関連メーカーの工場稼働停止等の影響により、世界自動車販売台数が大幅に減少することとなりました。

こうした中で当社グループは、2016年度から取り組んでいる6ヶ年の中期経営計画『マスタープラン2016』に基づき、引き続き「既存事業の収益力強化」、「事業ポートフォリオの最適化」、「経営基盤の強化」の各施策の遂行に努めました。

「既存事業の収益力強化」に向けては、各種の成形品や金型、精密金属加工部品等を主力製品とする精機事業、光通信用部品とその関連機器、レンズ、光伝送装置や光電界センサー等を主力製品とする光製品事業の両セグメントにおいて、販売力と価格競争力を強化すると共に、新製品、新技術の開発に取り組みました。「事業ポートフォリオの最適化」に向けては、「成長期待事業」に位置付けている精密樹脂成形品やレンズを「成長牽引事業」へと進化させるべく、顧客やパートナー企業との連携強化に努めました。「経営基盤の強化」に向けては、本社において小集団活動を通してボトムアップによる改善活動を継続的に実施したほか、働き方改革「メリハリワーク」を推進し、より短い時間でより多くの収益を上げる強固な組織体質の確立に努めました。

こうした施策と並行して、当第1四半期連結累計期間においては、当社グループの各拠点において、一部社員の在宅勤務や出張の禁止、来客の自粛要請、WEB会議や電話会議の積極活用、自家用車通勤や時差出勤の奨励、出勤前の検温、マスクの着用義務や手洗いの徹底といった新型コロナウイルスの感染予防対策を講じました。しかしながら、中国やフランスの子会社は、国や地方政府の要請により一時的に操業停止を余儀なくされました。本社及び国内の子会社においても、顧客の稼働悪化と感染予防の観点から数日間の一時的な一時帰休を実施いたしました。

こうした結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、2,757,715千円（前年同四半期比32.8%減）となりました。売上高の減少により、営業損益は32,657千円の営業損失（前年同四半期は524,253千円の営業利益）となりました。経常利益は、助成金収入や投資不動産賃貸料等の営業外収益を計上した結果13,223千円（前年同四半期比97.4%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,148千円（前年同四半期比99.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 精機関連

新型コロナウイルスの影響により自動車の世界販売台数は大幅に減少し、各国の自動車メーカーも軒並み工場の稼働を停止する事態となりました。これにより精機関連では、自動車の各種センサー用のインサート成形品や、エンジンに搭載する精密金属加工部品の売上が大幅に減少しました。電子機器向けの金属プレス成形品は、リモートワークの増加を背景にキーボード用途の突発的な需要増がありましたが、スマートフォン用途については、世界需要の停滞や中国のスマートフォンメーカーが一時的に工場の稼働を停止したこと等が影響し、売上が減少することとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の精機関連の売上高は1,660,662千円（前年同四半期比24.4%減）となりました。売上高の減少に伴い、営業損益は2,778千円の営業損失（前年同四半期は262,333千円の営業利益）となりました。

② 光製品関連

5Gの本格稼働を控え、世界規模で通信インフラの増強準備が進んでおり、光通信用部品の需要が増加傾向にあります。しかしながら当第1四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルスの影響を受けて中国の子会社が一時的に操業停止を余儀なくされ、光通信用部品の売上が減少しました。欧米各国でも外出規制や営業規制措置が採られ、光通信用部品の測定・検査装置の製造販売を行っているフランスの子会社も一時休業を行いました。顧客と顔を合わせて商談を行う機会が急減し、機器・装置関連やレンズの売上も減少することとなりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は1,097,053千円（前年同四半期比42.4%減）となりました。売上高の減少に伴い、営業損益は29,879千円の営業損失（前年同四半期は261,919千円の営業利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は26,904,579千円となり、前連結会計年度末から840,174千円減少いたしました。流動資産は16,725,857千円となり、前連結会計年度末から613,372千円減少いたしました。その主な要因は、売上高の減少により受取手形及び売掛金が減少したこと等に因ります。固定資産は10,178,722千円となり、前連結会計年度末から226,801千円減少いたしました。その主な要因は、建物や機械装置、のれん等の減価償却が進んだことに因ります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,848,085千円となり、前連結会計年度末から368,585千円減少いたしました。その主な要因は、売上高の減少により部材の買掛金が減少したこと等に因ります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は23,056,494千円となり、前連結会計年度末から471,588千円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金や為替換算調整勘定が減少したこと等に因ります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現在まで概ね計画の範囲内で推移しており、2020年5月12日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,066,728	11,020,191
受取手形及び売掛金	3,366,856	2,836,053
商品及び製品	690,424	740,177
仕掛品	619,794	673,750
原材料及び貯蔵品	788,100	858,595
未収還付法人税等	111,786	200,691
その他	697,137	398,073
貸倒引当金	△1,596	△1,676
流動資産合計	17,339,230	16,725,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,632,188	6,677,361
減価償却累計額	△4,181,365	△4,221,593
建物及び構築物(純額)	2,450,822	2,455,767
機械装置及び運搬具	6,767,219	6,619,460
減価償却累計額	△4,808,719	△4,703,955
機械装置及び運搬具(純額)	1,958,500	1,915,504
土地	2,335,796	2,335,796
建設仮勘定	542,114	503,820
その他	5,984,957	6,020,793
減価償却累計額	△5,276,238	△5,340,076
その他(純額)	708,718	680,717
有形固定資産合計	7,995,952	7,891,606
無形固定資産		
のれん	1,061,590	979,594
顧客関連資産	212,891	196,084
その他	79,082	74,022
無形固定資産合計	1,353,564	1,249,701
投資その他の資産		
投資有価証券	45,634	49,210
投資不動産	884,557	853,404
その他	125,815	134,800
投資その他の資産合計	1,056,007	1,037,414
固定資産合計	10,405,523	10,178,722
資産合計	27,744,754	26,904,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,563,813	1,315,303
未払法人税等	227,274	80,072
賞与引当金	111,357	171,285
その他	1,048,372	1,011,878
流動負債合計	2,950,817	2,578,540
固定負債		
退職給付に係る負債	937,909	937,723
役員株式給付引当金	65,399	85,054
長期末払金	144,870	144,870
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	28,918	8,619
その他	69,719	74,241
固定負債合計	1,265,853	1,269,545
負債合計	4,216,671	3,848,085
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,624,801	10,624,801
利益剰余金	6,508,894	6,141,384
自己株式	△564,553	△564,694
株主資本合計	23,360,825	22,993,174
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△624	3,209
為替換算調整勘定	165,282	55,850
退職給付に係る調整累計額	△74,327	△68,538
その他の包括利益累計額合計	90,331	△9,477
新株予約権	58,788	58,324
非支配株主持分	18,137	14,473
純資産合計	23,528,083	23,056,494
負債純資産合計	27,744,754	26,904,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	4,101,168	2,757,715
売上原価	2,635,422	1,983,995
売上総利益	1,465,746	773,720
販売費及び一般管理費	941,492	806,378
営業利益又は営業損失(△)	524,253	△32,657
営業外収益		
受取利息	3,830	5,113
受取配当金	349	378
補助金収入	10,856	9,799
助成金収入	—	20,035
投資不動産賃貸料	14,149	13,824
為替差益	—	4,844
その他	4,872	6,052
営業外収益合計	34,058	60,048
営業外費用		
不動産賃貸原価	3,675	3,327
為替差損	34,537	—
持分法による投資損失	1,407	1,176
固定資産除却損	—	9,258
その他	847	404
営業外費用合計	40,468	14,166
経常利益	517,842	13,223
特別利益		
固定資産売却益	2,163	124
特別利益合計	2,163	124
特別損失		
固定資産売却損	—	159
特別損失合計	—	159
税金等調整前四半期純利益	520,005	13,188
法人税、住民税及び事業税	198,049	41,661
法人税等調整額	△25,256	△29,995
法人税等合計	172,793	11,665
四半期純利益	347,212	1,522
非支配株主に帰属する四半期純利益	2,120	374
親会社株主に帰属する四半期純利益	345,091	1,148

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	347,212	1,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	3,833
為替換算調整勘定	47,250	△109,431
退職給付に係る調整額	1,735	5,788
その他の包括利益合計	48,985	△99,809
四半期包括利益	396,197	△98,286
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	394,413	△98,254
非支配株主に係る四半期包括利益	1,784	△31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の影響により、世界の経済、企業活動に広範な影響が及んでおり、当社グループ製品の供給先である自動車関連メーカーにおいても一部の工場が稼働を停止する等、当社グループの事業活動に影響が及んでいます。新型コロナウイルスの感染拡大の収束時期を予想することは困難ではありますが、繰延税金資産の回収可能性の判定については、連結財務諸表作成のための入手可能な情報に基づき、2021年3月期の後半から徐々に収束に向かうと仮定して会計上の見積りを行っております。

なお、前連結会計年度の有価証券報告書に記載した内容から、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,197,628	1,903,540	4,101,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,965	20	9,985
計	2,207,593	1,903,560	4,111,153
セグメント利益	262,333	261,919	524,253

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,660,662	1,097,053	2,757,715
セグメント間の内部売上高 又は振替高	17,649	544	18,194
計	1,678,312	1,097,598	2,775,910
セグメント損失(△)	△2,778	△29,879	△32,657

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はありません。